

国立高度専門医療センターの概要

国立高度専門医療センターの概要について(国立病院・療養所の歴史)

終戦後

戦後、厚生省が旧陸海軍病院及び軍事保護院所管の傷痍軍人療養所等の移管を受けて発足し、医療施設不足の状況下、復員者・引揚者の医療や戦後日本の国民病たる結核対策に大きな役割を果たす。

(注)国立病院は旧陸海軍病院を引き継ぎ、国立療養所は傷痍軍人療養所や日本医療団の結核療養施設を引き継ぎ発足。国立療養所は、特に結核、重症心身障害、筋ジストロフィー等長期の治療が必要な専門的医療を実施。

昭和20年度 厚生省に国立病院・療養所を移管
昭和24年度 国立病院特別会計法の制定

高度成長期

- がん、高血圧、心臓病等国民の死亡原因の上位を占める疾病に対する医療等について機能の充実。
- 障害施策拡充のため、重症心身障害児(者)、進行性筋萎縮症児(者)等に対する特殊疾病対策を推進。
- 施設の老朽化に対応するため、借入金制度を導入。
- 国立療養所を特別会計に移管。

昭和36年度 国立がんセンター発足
昭和38年度 借入金制度の導入
昭和43年度 国立療養所(ハンセン病療養所を除く。)を特別会計に移行
(病院勘定・療養所勘定の2勘定制へ)

その後

- 疾病構造の変化に対応し、高度先駆的医療、研究等を担う中核的機関である国立高度専門医療センター(NC)を整備。
- 再編計画を策定し、施設の統廃合、経営移譲を進める。

昭和52年度 国立循環器病センター発足
昭和61年度 国立精神・神経センター発足
平成5年度 国立国際医療センター発足
平成13年度 国立成育医療センター発足
平成15年度 国立長寿医療センター発足

国病機構独法化

- 中央省庁等改革の一環として、国立高度専門医療センター及びハンセン病療養所を除き独立行政法人に移行。

平成16年度 (独)国立病院機構発足

NC独法化

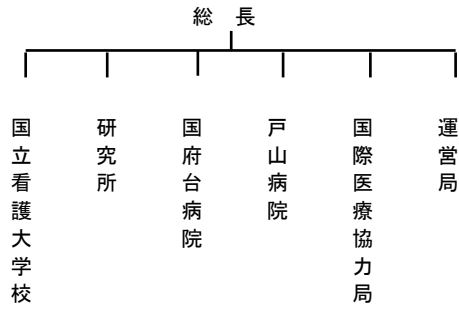
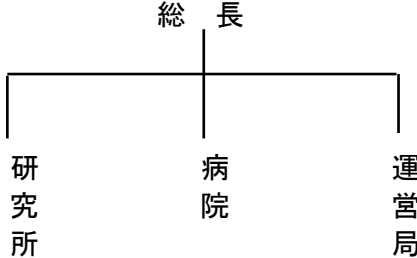
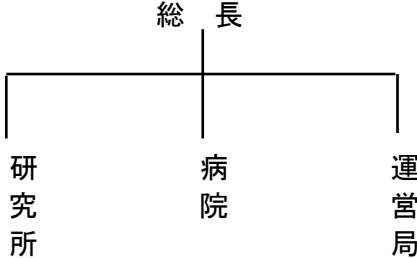
- 行革推進法等を踏まえ、国立高度専門医療センター特別会計は廃止され、各国立高度専門医療センターはそれぞれ独立行政法人に移行。

平成22年度
(独)国立がん研究センター、
(独)国立循環器病研究センター、
(独)国立精神・神経医療研究センター、
(独)国立国際医療研究センター、
(独)国立成育医療研究センター、
(独)国立長寿医療研究センター 発足予定

国立高度専門医療センターの概要

国立高度専門医療センター（いわゆるナショナルセンター）は、我が国における死亡数、患者数、医療費のいずれをとっても最も大きな割合を占める「がん」、「脳卒中」、「心臓病」など、その制圧が国民的課題となっている疾病について、高度先駆的医療の研究・開発・普及、医療従事者の研修及び情報発信等を総合的・一体的に行うための中核的機関として、運営局、病院、研究所を設置したものである。

センター名	国立がんセンター (National Cancer Center)	国立循環器病センター (National Cardiovascular Center)	国立精神・神経センター (National Center of Neurology and Psychiatry)
創設年月日	昭和37年 1月 1日	昭和52年 6月 1日	昭和61年10月 1日
総長	廣橋 説雄	橋本 信夫	樋口 輝彦
所在地	①中央病院：東京都中央区築地5-1-1 ②東病院：千葉県柏市柏の葉6-5-1	大阪府吹田市藤白台5-7-1	東京都小平市小川東町4-1-1
組織	<pre> graph TD A[総長] --- B[研究所] A --- C[がん情報対策センター] A --- D[がん研究防センタ診] A --- E[東病院] A --- F[中央病院] A --- G[運営局] </pre>	<pre> graph TD A[総長] --- B[研究所] A --- C[病院] A --- D[運営局] </pre>	<pre> graph TD A[総長] --- B[精神保健研究所] A --- C[神経研究所] A --- D[病院] A --- E[運営局] </pre>
定員	1,342名（21年度予算定員）	1,010名（21年度予算定員）	616名（21年度予算定員）
病床数	①中央病院：600床 ②東病院：425床	640床	890床
主な事業内容	我が国のがん対策の中核的機関として、がんその他の悪性新生物についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。	我が国の脳卒中、心臓病等の循環器病対策の中核的機関として、循環器病についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。

センター名	国立国際医療センター (International Medical Center of Japan)	国立成育医療センター (National Center for Child Health and Development)	国立長寿医療センター (National Center for Geriatrics and Gerontology)
創設年月日	平成 5 年 10 月 1 日	平成 14 年 3 月 1 日	平成 16 年 3 月 1 日
総長	桐野 高明	加藤 達夫	大島 伸一
所在地	①戸山病院：東京都新宿区戸山1-21-1 ②国府台病院：千葉県市川市国府台1-7-1	東京都世田谷区大蔵2-10-1	愛知県大府市森岡町源吾36-3
組織			
定員	1, 527名 (21年度予算定員)	751名 (21年度予算定員)	434名 (21年度予算定員)
病床数	①戸山病院：925床 ②国府台病院：719床	460床	300床
主な事業内容	我が国の医療分野における国際貢献の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必要な疾病についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。	我が国の成育医療の中核的機関として、小児医療、母性医療、父性医療及び関連・境界領域を包括する成育医療についての診断、治療、調査研究及び医療従事者の研修等を行う。	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾患であって、高齢者が自立した日常生活を営むために特に治療を必要とするものに関する診断、治療、調査研究及び技術者の研修等を行う。

国立高度専門医療センター（NC）の職員数

平成21年度末定員数

	医 師	看護師	医療技術職員	事務職	研 究	その他	合 計
国立がんセンター	239	714	169	74	131	15	1,342
国立循環器病センター	143	554	150	51	98	14	1,010
国立精神・神経センター	63	330	63	52	95	13	616
国立国際医療センター	242	897	167	106	43	72	1,527
国立成育医療センター	142	447	74	47	38	3	751
国立長寿医療センター	63	233	49	34	55	0	434
合 計	892	3,175	672	364	460	117	5,680

注1 医療技術職員は、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士 等である。

注2 事務職には、医療社会事業専門員等の福祉職適用職員を含む。

注3 その他職員は、国立看護大学校の教育職員及び看護助手、調理師等の行政職(二)適用職員である。

国立高度専門医療センター（NC）職員の採用・異動等の現状

○ NC職員に対する任命権者

・管理職職員 …… **厚生労働大臣** ・管理職職員以外の職員 …… **総長** ※

※ 国家公務員法の規定により任命権を委任。

- 任命権とは、職員の採用、昇任、異動等の任用行為を行う権限。
- 任命権者は、任命権を有する者であり、国家公務員法上、所管行政の責任者として、事務を統括し、サービスを統督する各省の長等に任命権を付与することにより、任命権の所在と責任を明確にしている。

○ NC職員の採用・異動の現状

■ 職員の採用方法 …… **試験採用**（競争試験による採用） 又は **選考採用** ※

※ 管理職職員や研究職員の選考採用に当たっては、より優秀な人材の確保を図るため、**公募を実施**。

■ 職員の人事異動（転任・配置換）

- 転任又は配置換は、公務上の必要性に基づく判断を基本に、任命権者による任命権の行使。

〔 転 任 …… 職員を任命権者を異にする他の官職に任命すること。
配置換 …… 職員を任命権者を同じくする他の官職に任命すること。 〕

- 従来から、事務職、看護師その他コメディカル職員は、良質な人材育成及び確保を図ることを目的に、国立病院機構（旧国立病院・療養所）、国立ハンセン病療養所などの機関との人事交流を実施。
- これら機関との人事交流による施設異動及び職務異動の経験を積み重ねることで、幹部職員等の人材育成を実施。

■ 職員の採用、異動等の現状（主な職種）

職 種	採用方法等	主な人事交流機関	備 考
医 師	選考 ※ 医長、部長等管理職職員は公募を実施	国立病院機構、国立大学法人 等	
研究職		-----	研究計画等に応じ、任期付任用を適用
看護師	選考 ※ HP等へ採用募集を掲載	国立病院機構、ハンセン病療養所 等	
事務職	試験採用 ※ 国家公務員試験合格者を採用		厚労本省、厚生局との人事交流あり

平成21年度国立高度専門医療センター特別会計予算の概要

(単位：億円、%)

歳入			歳出		
事項	21年度予算額	構成比	事項	21年度予算額	構成比
診療収入	881	56.9	政策医療推進費	1,152	74.5
借入金	98	6.3	施設整備費	145	9.3
積立金より受入	6	0.4	特別整備費	98	6.3
医療技術開発等 研究収入	89	5.8	一般整備費等	47	3.0
雑収入	10	0.7	国債整理基金 特会繰入	176	11.4
一般会計繰入	463	29.9	医療技術開発等 研究費	74	4.8
合計	1,547	100.0	合計	1,547	100.0